

防災教育、防災活動 について調べる

平成 7 年（1995）1 月 17 日午前 5 時 46 分 阪神・淡路大震災 発生

◆神戸の防災教育

副読本 『しあわせはこぼろ』（小学校 1・2・3 年用、小学校 4・5・6 年用） 震 375A
『幸せ運ぼう』（中学校） 震 375A

1995 年 11 月
副読本『しあわせはこぼろ』『幸せ運ぼう』作成

1997 年 3 月改訂
主な改訂箇所
・防災シミュレーションのページあり
・火災・水害など地震以外の防災にも言及

2013 年 3 月改訂
主な改訂箇所
・東日本大震災、特に仙台市についても言及
・小学校は各学年のページをもうけた

2005 年 3 月改訂
主な改訂箇所
・津波、高潮にも言及
・地震の規模の記述「マグニチュード 7.2」→「7.3」

防災教育に関する図書

書架分類：震 375A（防災教育）

『未来につなぐ防災教育～KOBÉ きずな・愛・いのち～』神戸市教育委員会他 2009
『幸せ運ぼう：阪神・淡路大震災から学ぶ：ビジュアル版』神戸市教育委員会 2008
『BOKOMI スクールガイド：防災教育支援ガイドブック』神戸市防災安全公社 2009 ほか

◆防災コミュニティ

災害時に地域住民で助け合って救助・避難ができるように、自主防災活動を行う取り組みです。神戸市には、阪神・淡路大震災を教訓に結成された「防災福祉コミュニティ」＝“防コミ”という小学校区単位の自主防災組織が 191 地区あり、防災訓練、講習会などを行っています。

キーワード： ○自主防災 ○「自助・共助・公助」の理念 ○要援護者支援
○生活防災・・・普段やっていないことは、緊急時でもできない可能性が大了。
防災を日々の生活習慣に融け込ませるという考え方です。

防災コミュニティ活動に関する図書

書架分類：震 317A（消防）、震 361A（社会学）など

『災害時に組織的な活動ができる自主防災組織へ』神戸市消防局 2014
『防災コミュニティ』中村八郎 他 2010 ほか
神戸市消防局の情報誌『雪』（T05-72）の連載「防コミの歩き方」…地域での色々な防災活動を紹介。

◆防災ゲーム

災害対応カードゲーム「クロスロード」

「クロスロード」は、カードを用いたゲーム形式の防災教育教材です。「クロスロード」とは英語で「岐路」「分かれ道」を意味します。

阪神・淡路大震災では、対応を迫られた難しい判断状況がたくさんありました。この貴重な体験をもとに、「クロスロード」は作成されています。

「神戸編・一般編」は、阪神・淡路大震災において災害対応にあたった神戸市職員へのインタビューの内容が元になっており、実際の対応において神戸市職員が経験したジレンマの事例をカード化したものです。

ゲームの参加者は、カードに書かれた事例を自らの問題として考え、YESかNOで自分の考えを示すとともに、参加者同士が意見交換をしながらゲームを進めていきます。

必ずしも正解はありません。自分とは違う考え方、違う立場があることを理解し、話し合うことに意味があります。

<問題>

被災から数時間。避難所には 3000 人が避難しているとの確かな情報が得られた。現時点で確保できた食料は 2000 食。以降の見通しは、今のところなし。まず、2000 食配る？

<ルール>

質問に、YES NO で答えます。多数派になれば、得点を表す青い座布団が手に入ります。

ただし、ひとりだけ異なる意見となった場合はその人にだけ金の座布団が手に入り、他の人には座布団はもらえません。

全部で 10 問の問いに答え、一番多くの座布団をもっていた人の勝ちになります。

勝ち負けよりも、災害対応について学ぶことが目的のゲームです。

「クロスロード」の手法をヒントにした防災ゲーム図書に『被災地デイズ』があります。自治体職員や消防士など「自分以外の誰か」になりきって災害時のジレンマを考える防災ゲームです。

「クロスロード」についての参考図書

- 『防災ゲームで学ぶリスク・コミュニケーション：クロスロードへの招待』矢守克也 他 2005 震 3693A
- 『クロスロード・ネクスト：続ゲームで学ぶリスク・コミュニケーション』2009
- 『被災地デイズ』矢守克也 2014 震 3696A
- 『夢みる防災教育』晃洋書房 2007 震 375A